

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date

2012年4月2日

Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第5号

目次 Inside This Issue

- 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第5号
- 2 県内の一部の保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続
- 3 鳥インフルエンザなどの発生情報

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を
平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ
対策にもご活用ください。

Information

県内の一部の保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続

県は、3月29日、平成24年第12週(3月19日~25日)におけるインフルエンザ定点当たりの報告数は、第11週(3月12日~3月18日)に比べ減少したものの、依然として東地方+青森市、八戸、上十三及びむつつの各保健所管内で警報レベルを超えていると発表しました。

青森県感染症発生動向調査の第12週の定点あたり報告数は、13.2(定点数65ヶ所、報告数856人)となりました。

【青森県 インフルエンザの発生状況 3月29日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyosenta/files/w1212.pdf>

青森県のインフルエンザ発生状況

青森県感染症発生動向調査によると、平成24年第10週(3月5日~11日)での定点あたり報告数は20.5(報告数1,330人)、第11週でのそれは15.0(報告数975)でした。

【青森県感染症情報センター 青森県感染症発生情報】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html>

News

鳥インフルエンザなどの発生情報

鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

1. エジプト保健・人口省は、3月19日、鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな1例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・患者はダカリーヤ県の40歳の女性で、3月6日に発症、12日に入院し、抗インフルエンザ薬(タミフル)の投与を受けたが、15日に死亡。
- ・患者は発症前に近隣での感染鶏に暴露している。
- ▶ エジプトでは、164例の確定患者が発生し、うち58例が死亡。

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例(2003年~2012年3月26日)

| | |
|-------|-------|
| 確定症例 | 598人 |
| うち死亡例 | 352人 |
| 致死率 | 58.7% |

【WHO 鳥インフルエンザ－エジプトの状況 3月19日】
http://www.who.int/csr/don/2012_03_19/en/index.html

2. インドネシア保健当局は、3月26日、鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな1例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・患者はヌサ・トゥンガラ・バラ島の17歳の男性で、2月28日に発症、3月1日に治療が行われましたが症状が悪化、3月9日に死亡。
- ・調査によると、男性の周辺で鶏の突然死が発生していました。
- ▶ インドネシアでは、188例の確定患者が発生し、うち156例が死亡しています。今年(2012年)では5例の確定患者が発生し、全員死亡しています。

【WHO 鳥インフルエンザ－インドネシアの状況 3月26日】
http://www.who.int/csr/don/2012_03_26/en/index.html

3. カンボジア保健当局は、4月2日、鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな1例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・患者は同国南中央部のコンブンチュナン州の6歳の女児で、3月22日に発症、当初は家族が治療していましたが好転せず、3月28日に入院、30日に死亡。
- ・報告では、患者は、発症前に死亡鶏の肉を食しています。
- ▶ (WHOがこの症例をH5N1患者と確認した場合)カンボジアでは、20例の確定患者が発生し、うち18例が死亡しています。今年(2012年)では2例の確定患者が発生し、全員死亡しています。

【The Phnom Penh Post 鳥インフルエンザによる子供の死亡 4月2日】
<http://www.phnompenhpost.com/index.php/2012040255372/National-news/bird-flu-leaves-one-child-dead.html>

- 鳥インフルエンザ A(H5N1)が再出現した2003年以降、2012年3月26日までに、WHOに報告された鳥インフルエンザ A(H5N1)確定症例の累計数は598人となっており、そのうち352人が死亡しています。(致死率は、58.9%)

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ(A/H5N1)感染確定症例数】
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20120326CumulativeNumberH5N1cases.pdf

インフルエンザの発生情報・研究報告など

- データベース分析：鼻水症状があるH5N1感染の子ども、より生存の可能性

鳥インフルエンザ A(H5N1)の臨床症状や致死率に関するデータによると、鼻水症状を呈したH5N1感染の子どもは、抗インフルエンザ薬の治療などに関わらず、助かる傾向があるという報告。これはH5N1感染の子ども193人からのデータで、鼻水症状を呈した感染児はそうでない感染児と比べその死亡の可能性は76%減少。反対に、抗インフルエンザ治療が遅れた場合、死亡する可能性は75%上昇しているとしています。

【CID 子どもにおける鳥インフルエンザ A(H5N1) 3月15日】
<http://cid.oxfordjournals.org/content/early/2012/03/13/cid.cis295.short>

- 七面鳥からインフルエンザ A(H1N1)2009 の遺伝子を持つ変異型 H3N2

ウイルスの確認

七面鳥から分離された変異型 H3N2 ウイルスがインフルエンザ A (H1N1)2009 の遺伝子分節を含んでいたとの報告。これは、カナダの南オンタリオ地区の地理的に異なる 3 地域の農場において、産卵が有意に減少したが臨床症状がない七面鳥から採取した検体から確認されたもので、家きんにおいて初めて報告された事例となっています。

【PlosOne 七面鳥におけるインフルエンザ H1N1 遺伝子を持つ特異的な変異型 H3N2】
<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0032858>

○ 研究：重症のインフルエンザを起こす役割を持つ遺伝子

インフルエンザに感染すると、ある人では重症化し、それ以外の人には軽症である理由を説明する遺伝子上の発見を報告。IFITM3 (InterFeron-Inducible TransMembrane) と呼ばれる遺伝子の特殊な変異体を持つ人は、それ以外の変異体を持つ人と比べ、インフルエンザに感染した際に入院する可能性が有意に高いとされています。

【nature IFITM3 がインフルエンザ関連発病率や死亡率を制限 3月25日】
<http://www.nature.com/nature/journal/vaop/ncurrent/abs/nature10921.html>

「編集後記」はお休みします。

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

青森県庁「インフルエンザ対策」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter